

# 出水に備え『斐伊川水防演習』を実施します。

## 記者発表資料

第18回斐伊川水防演習を別紙のとおり開催しますのでお知らせします。

この度の演習では、水防団員の水防技術向上を図るため水防工法講習会を開催するほか、斐伊川の水防活動において必要となる一般的な水防工法や地元斐伊川オリジナルの「出雲結い工」などを実施します。また、被災現場で活躍する「排水ポンプ車」「照明車」の設営訓練を実施します。

また、災害時の負傷者対応等の応急対策として救急救命講習会や『家庭でできる「簡易水防工法」コーナー』、ロープワーク等の一般見学者の皆様にも参加していただける講習もありますので是非ご来場ください。

なお、本年は、斐伊川流域を襲った昭和47年7月洪水から40年目の節目の年であり、改めて斐伊川流域の治水について考えることを目的として、出雲河川事務所では斐伊川流域で「集い」や「パネル展」を実施する予定です。

平成24年5月17日

国土交通省 出雲河川事務所  
島根県 雲南県土整備事務所  
島根県 出雲県土整備事務所  
雲 南 市  
出 雲 市

発表記者クラブ名

県政記者会・出雲市政記者クラブ

問 合 せ 先

国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

副所長(技術) 坂本 泰正

管理第一課長 兼重 和明

Tel 0853-21-1850(代)



忘れてはならない教訓 次代に引き継ごう  
～ 2012年は昭和47年7月水害から40年～

# 雨の季節を前に

平成24年度 (第18回)

みなさんの参加・見学を  
お待ちしております！

## 斐伊川で水防演習



23年度シート張り工法の演習状況



23年度月の輪工法の演習状況



近年、地球温暖化の影響などもあって記録的な集中豪雨が多発し、大規模な洪水被害が全国各地で起きています。斐伊川水系でも平成18年7月豪雨により、流域各地で大きな被害が発生したことは記憶に新しいところです。

また、本年は昭和47年7月の大洪水から40年の節目にもあたります。

国土交通省、島根県及び斐伊川沿川の出雲市、雲南市では、こうした洪水が起きた時、災害を未然に防ぎ、また被害を最小限に食い止めるための「水防活動」に備え、水防技術の修練と志気高揚を図ることを目的に「斐伊川水防演習」を毎年行っています。

今年も水防専門家や防災エキスパートの指導のもと本番さながらの訓練を行い、万一の水害に備えます

日時 : 平成24年5月26日(土)  
9:00~12:00

演習会場 : 雲南市三刀屋町下熊谷地先  
斐伊川河川敷 (里熊大橋上流西側)

主催 : 国土交通省 : 出雲河川事務所  
島根県 : 雲南県土整備事務所  
出雲県土整備事務所  
雲南市、出雲市

協賛 : 斐伊川水系災害対策協力会  
中国地方防災エキスパート

### ◆演習内容

斐伊川の水防活動において必要となる代表的な水防工法を基礎から習得することを重点に訓練する他、地元建設業者で組織する「災害対策協力会」と水防団とが連携して作業する工法を実演します。

また、被災現場での活躍が注目されている「排水ポンプ車」「照明車」の設営演習や雲南消防本部による救急救命講習会も予定しています。

# 一般参加、見学コーナーも設けています！

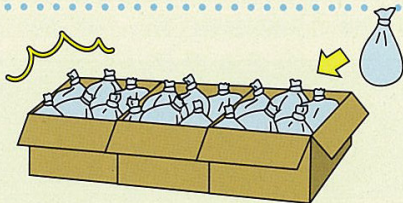
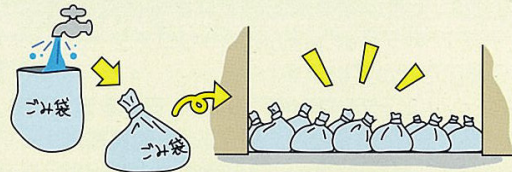
一般参加の方には、ロープワークや家庭で出来る簡易水防工法を指導いたします。覚えてお



## 家庭で出来る！簡易水防工法の例

### 例1 ごみ袋を使った水防工法

ごみ袋(2重)に水を入れ、家の出入り口などにならべることで、水の浸入を低減させます。

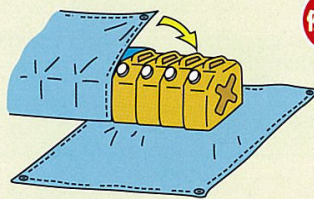


### 例2 ダンボール箱を使った水防工法

例1の応用工法です。ダンボール箱を併用するとごみ袋が水に流されにくくなります。

### 例3 ポリタンクを使った水防工法

水を入れたポリタンク等をシートで包み、水の浸入を低減させます。

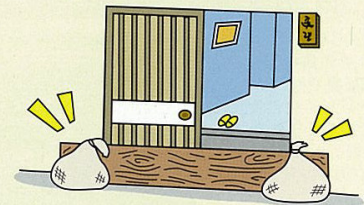
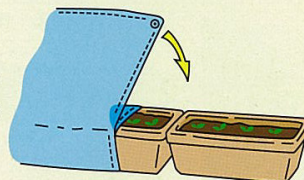


### 例5 木の板を使った水防工法

木の板などを土のうで固定するだけでも、水の浸入を低減することができます。

### 例4 プランターを使った水防工法

例3の応用工法です。土を入れたプランターを利用すれば、さらに水への抵抗力が増します。



### 例6 家庭の水防用に開発された製品の利用

家庭で多量に準備することが困難で重い土のうの代わりに、家庭用に開発された様々な製品を利用することも有効です。

